２月自然観察サークルブログ

新沢千塚古墳126号墳

自然観察サークルの2月定例会は、橿原市の新沢千塚古墳群へ出かけてシルクの森と呼ばれる古墳公園の自然観察と「橿原の遺跡から見る自然環境」というテーマで講演を聞いて学びました。

歩いたコースは、近鉄橿原神宮前駅広場から橿原神宮の森を抜け深田池を通り曽我川を渡り新沢千塚古墳群のある社の森を目指す道でした。

深田池にはマガモやヒドリガモが群がって泳いでいました。水鳥を見るのは久しぶりで、とてもかわいかったです。

深田池のほとりで準備運動

行く道々観察した草花

ウメ

ハナイバナ

オランダミミナグサ

スイセン

スイバ(ロゼット状の赤い葉で防寒)

ヒメオドリコソウ

ハルノノゲシ

ナズナ

寒い日でしたが春の兆しが見えました。

古墳群に到着。115号墳と126号墳へ移動。

「歴史に憩う橿原市博物館」昼食後の自由行動時間に見学。

博物館全景

出土品展示室

縄文時代晩期の土器

126号墳出土品（金製方形版）

昼からは「橿原の遺跡から見る自然環境」という演題で橿原市教育委員会の平岩先生からお話を伺いました。およそ一万年前から数千年前なんて想像もつかない時の流れ。その流れを超えて遺跡の発掘から、当時どのような木があってどのくらいあったかなど自然環境を推測して当時の人々の生活を推測するのです。考古学もすごいです。

講演会後現地で解散しました。寒かったですが、有意義な一日でした。